

平成29年度業務実績評価結果に対する業務等への反映状況

公立大学法人福井県立大学

分野	評価委員会の提言	業務への反映状況等
教育	<ul style="list-style-type: none"> 在宅看護を想定した実践的な看護実習を行っており、評価できる。さらに地域包括ケア体制を構築するため、地域の医療・福祉を支える人材の育成、研究成果の還元が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年4月、看護福祉学研究科看護学専攻に、看護師職における組織運営論等を学ぶ「看護マネジメント領域」を新設し、5人が入学した。 大学等において高度な看護研究・教育を担う人材を育成するため、大学院に看護学専攻博士後期課程の開設に向け検討を開始した。 地域包括ケアシステム構築に向け、地域住民が抱える課題の実態調査アンケートの準備を進めた。
	<ul style="list-style-type: none"> 就職率が全国平均を上回るとともに過去最高となり、県内企業就職率も前年度から5.9ポイント増加した。引き続き県内就職者増加に向けた取組みを進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 県内企業による個別説明会を21回開催し、延べ134人の学生が参加したほか、福井県や県内団体と連携し、本学OBOGや働く女性との懇談会を開催した。 県内企業を訪問し情報収集および本学のPRを行い、学生の就職相談等において収集情報を還元した。
研究等	<ul style="list-style-type: none"> 地域貢献は県立大学の使命であり、研究成果を地元へ還元する地域連携本部の設置は評価できる。 	<p>—</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 恐竜学の教育・研究を充実し、県立大学のブランドとして発展することを期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年4月、生物資源学研究科生物資源学専攻に、恐竜など生物進化や地球環境史等に精通した研究者を養成するため、「古生物学専門種目」を新設し、3人が入学した。 古生物学関連学部の設置に関する有識者会議を開催した。
	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアの事例研究など、地域への貢献を一層強化してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 以下の地域貢献に関する研究活動等を展開した。 <ol style="list-style-type: none"> ① 県と連携し、訪日外国人マーケティング調査や観光に関する公開講座の開催等、観光関連プロジェクトを推進した。 ② 小浜市が普及・拡大を進めている「コウギク」の産地化に向けた研究・分析のサポートを行った。 ③ 地域包括ケアシステム構築に向け、地域住民が抱える課題の実態調査アンケートの準備を進めた。【再掲】
地域貢献 国際交流等	<ul style="list-style-type: none"> 海外へ留学生数、海外からの留学生数を増加させるため、更なる対策が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 派遣留学生の拡大に向け以下の取組みを進めた結果、134人（H29年度：75人）が留学し、短期・長期留学ともに過去最高の派遣者数を達成した。 <ol style="list-style-type: none"> ① LEAP（海外英語短期研修プログラム）の募集枠を22人から30人に拡大したほか、派遣先としてカナダ等を新たに追加した。 ② 留学助成金の前払制度を導入した。 受入留学生の拡大に向け以下の取組みを進めた。 <ol style="list-style-type: none"> ① 受入留学生に対しチューターを配置し学生生活を支援した。 ② 新たに、国内の日本語学校に通学する外国人学生などを対象とした進学説明会に参加し、本学の魅力をPRした。